

第3回 国道（国管理）の維持管理等に関する検討会 議事概要

1. 日時 平成24年10月24日（水）13：30～15：30

2. 出席者委員

那須清吾座長、堤盛人委員、二村真理子委員、山口栄輝委員

3. 議事概要

事務局より資料について説明し、主な議論は以下のとおり。

(1) サービス目標と維持管理基準について

- 便益を受ける主体との関係も含め、維持管理の各作業項目が安全性、信頼性、快適性にどうリンクしているのかを整理する必要がある。
- 今後の維持管理のあり方について、ある水準を設定したとして、来年度以降それらをどのように評価するのか、見直していくプロセスが必要である。

(2) 道路構造物の修繕及び更新について

- 自治体には、古い橋や石橋など様々な橋があり、手に負えないものもあるため、何らかの形で国による技術支援の仕組みを考えるべき。
- データベースを構築後、推計などの機会に活用すべき。
- 地方では、名前のない無名橋が多くあるため、データベースでは橋梁にIDを付けるべき。
- 橋梁の設計基準は過去と現在で異なっていることや、更新といいながら機能を向上している事例もあるなど注意が必要である。
- 更新の判断では、道路ネットワークとして架替えの予想や計画等の情報を収集しておく必要がある。